

南水研発リカレント教育プログラム

愛媛大学水産人材育成講座

— 応用編・水産業と地域振興 —

2023 年度受講者募集要項

愛媛大学南予水産研究センター

1. プログラムの目的

愛媛県は、全国第3位の漁業・養殖業産出額を誇る水産県であり、水産業は南予地域の基幹産業として、地域経済に大きく貢献しています。しかし、近年、我が国では水産資源の減少による漁獲量の長期的な減少、漁業就業者の減少・高齢化、水産物消費の減少と魚離れ、魚価の低迷など、水産業を取り巻く状況は一段と厳しく、地域経済への影響が懸念されています。一方で、海外では水産物の消費が増大し、世界の水産物貿易も増加するなど、水産業はこれからの成長産業として注目されています。

このような国内外の状況を踏まえると、我が国の水産業にイノベーションを起こせるような人材の育成と、それらの人材を通じた地域創成が求められるところであります。このため、本県における水産業の重要性に鑑み、さらに社会人の学び直しニーズにも応えられるよう、令和4年度に「基礎編・水産学概論」を開講したところですが、今回改めて地域振興や輸出等をテーマに「応用編・水産業と地域振興」を開設します。

2. 募集人数

30名程度

※ 募集人数を大幅に超えて応募があった場合は、抽選によって受講者を決定させていただきます。

3. 受講資格

漁業者、水産業者、漁協等職員、自治体等職員

商工業者、農林業者、農協等職員、金融関係者、高校生

その他、水産の資源活用、地域振興、産業創出等について学ぶ意欲のある者

※ 基礎編の受講の有無にかかわらず、応募可能です。

※ 水産企業や団体の新入社員等の従業員育成にもご活用ください。

※ 水産業に興味のある高校生の高大接続にもご活用ください。

※ 講義には、愛媛大学社会共創学部の学生が参加することもあります。

4. プログラムの内容

(1) 講座内容とスケジュール（予定）

- ・ 講座は、令和5年5月から令和5年9月の5か月間、毎月1回、第3土曜日に開催します。
- ・ 講義は1コマ90分で、1回の講座あたり3コマ、計5回の講座で15コマを行います。（※大学での2単位に相当します。）
- ・ 毎月の講座内容とスケジュールは、別表のとおりです。

(2) 講座の開催方法

- ・ 講義は、愛媛大学南予水産研究センター船越ステーション（愛媛県南宇和郡愛南町船越1289-1）での対面形式と、オンライン会議アプリ「Zoom」を使用する非対面形式とのハイブリッド形式で行います。なお、都合により、講師がオンラインで参加する場合があります。

◀ 部門別・講座内容一覧 ▶

【Ⅰ. 水産技術】

- 宇和海水温情報システム You see U-sea の分析（水温情報の読み方）
愛媛大学南予水産研究センター 顧問・客員教授 武岡英隆
- 新技術を用いた水産養殖イノベーション（借腹生産など次世代育種システム）
愛媛大学南予水産研究センター 教授・センター長 松原孝博
- 養殖魚の味と高品質化（品質評価手法の開発）
愛媛大学南予水産研究センター 准教授 斎藤大樹
- 水産業と IoT（デザイン思考で考えるシステム論）
愛媛大学大学院理工学研究科 教授 小林真也
- 宇和海の生産現場から（IoT の活用、スマート養殖業の実践）
大西水産有限会社 代表取締役 大西 光

【Ⅱ. 地域振興】

- 地域活性化のための愛南町の水産ブランド戦略（行政における地域活性化）
愛南町水産課 課長 （予定）
- 水産資源を活用したブランディング（水産高校の取組とブランディング）
愛媛県立宇和島水産高等学校 教諭 鈴木康夫
- らしさ価値のでざいん（地域活性化のための「らしさ価値」）
ビンデザインオフィス有限会社 代表取締役 山内敏功
- メディアを活用した地域ブランディング（地域ブランディング）
株式会社エス・ピー・シー 常務取締役 横山ぬい
- 水産業を核とした地域活性化の事例（活性化事例）
愛媛大学南予水産研究センター 准教授 竹ノ内徳人

【Ⅲ. 水産物輸出】

- 水産物輸出の背景（水産業の現状と課題：消費と価格、国際比較等）
愛媛大学南予水産研究センター 顧問・客員教授 金尾聡志
- 水産物輸出の現状／動向と JETRO のサービス（輸出の現状・動向、JETRO）
独立行政法人日本貿易振興機構 （予定）
- 水産物輸出と HACCP（輸出における HACCP 対応）
独立行政法人日本貿易振興機構 （予定）
- 水産エコラベルは何（誰）のため？（今後のあり方、考え方）
日本水産資源保護協会 MEL 審査員 松岡 学
- 海外から見た宇和海の水産養殖への期待（輸出の可能性）
愛媛大学南予水産研究センター 客員教授 西永豊光 ※米国在住
海外模倣被害報告（商標登録の重要性）
元愛媛県産業技術研究所 所長 水産学博士 平岡芳信

《別表》

毎月の講座内容とスケジュール

《愛媛大学水産人材育成講座 ー応用編・水産業と地域振興ー》	
<p>5月20日(土)</p> <p>10:15~10:20</p> <p>10:20~10:30</p> <p>10:30~12:00</p> <p>13:00~14:30</p> <p>14:50~16:20</p>	<p>【第1回講座】</p> <p>○ 開講挨拶 愛媛大学南予水産研究センター センター長 松原孝博</p> <p>○ 講座の概要説明 愛媛大学南予水産研究センター</p> <p>○ 宇和海水温情報システム You see U-sea の分析 (水温情報の読み方) 愛媛大学南予水産研究センター 顧問・客員教授 武岡英隆</p> <p>○ 地域活性化のための愛南町の水産ブランド戦略 (行政における地域活性化) 愛南町水産課 課長 (予定)</p> <p>○ 水産物輸出の背景 (水産業の現状と課題:消費と価格、国際比較等) 愛媛大学南予水産研究センター 顧問・客員教授 金尾聡志</p>
<p>6月17日(土)</p> <p>10:30~12:00</p> <p>13:00~14:30</p> <p>14:50~16:20</p>	<p>【第2回講座】</p> <p>○ 新技術を用いた水産養殖イノベーション (借腹生産など次世代育種システム) 愛媛大学南予水産研究センター 教授・センター長 松原孝博</p> <p>○ 水産資源を活用したブランディング (水産高校の取組とブランディング) 愛媛県立宇和島水産高等学校 教諭 鈴木康夫</p> <p>○ 水産物輸出の現状/動向と JETRO のサービス (輸出の現状・動向、JETRO) 独立行政法人日本貿易振興機構 (予定)</p>
<p>7月15日(土)</p> <p>10:30~12:00</p> <p>13:00~14:30</p> <p>14:50~16:20</p>	<p>【第3回講座】</p> <p>○ 養殖魚の味と高品質化 (品質評価手法の開発) 愛媛大学南予水産研究センター 准教授 斎藤大樹</p> <p>○ らしさ価値のでざいん (地域活性化のための「らしさ価値」) ビンデザインオフィス株式会社 代表取締役 山内敏功</p> <p>○ 水産物輸出と HACCP (輸出における HACCP 対応) 独立行政法人日本貿易振興機構 (予定)</p>
<p>8月19日(土)</p> <p>10:30~12:00</p> <p>13:00~14:30</p> <p>14:50~16:20</p>	<p>【第4回講座】</p> <p>○ 水産エコラベルは何 (誰) のため? (今後のあり方、考え方) 日本水産資源保護協会 MEL 審査員 松岡学</p> <p>○ メディアを活用した地域ブランディング (地域ブランディング) 株式会社エス・ピー・シー 常務取締役 横山ぬい</p> <p>○ 水産業と IoT (デザイン思考で考えるシステム論) 愛媛大学大学院理工学研究科 教授 小林真也</p>
<p>9月16日(土)</p> <p>10:30~12:00</p> <p>13:00~14:30</p> <p>14:50~16:20</p>	<p>【第5回講座】</p> <p>○ 海外から見た宇和海の水産養殖への期待 (輸出の可能性) 愛媛大学南予水産研究センター 客員教授 西永豊光 海外模倣被害報告 (商標登録の重要性) 元愛媛県産業技術研究所 所長 水産学博士 平岡芳信</p> <p>○ 宇和海の生産現場から (IoTの活用、スマート養殖業の実践) 大西水産有限公司 代表取締役 大西 光</p> <p>○ 水産業を核とした地域活性化の事例 (活性化事例) 愛媛大学南予水産研究センター 准教授 竹ノ内徳人</p>

※ 都合により、講義の順番が変更される場合があります。

◇ 講座の特徴

- ・ 講師は、愛媛大学南予水産研究センターの教員のほか、外部の専門家などの招聘も予定しております。
- ・ 水産技術、地域振興、水産物輸出の3つの分野から、毎月それぞれ1講義ずつを組み合わせて、講座を行う予定です。
- ・ リアルタイムでの参加のほか、講義を収録した動画を YouTube チャンネルにて約1か月間、受講者に限定配信しますので、都合に合わせた受講が可能です。

(3) 修了要件と修了証明

- ・ 講義の7割以上の出席（11コマ以上）と、受講した講義のレポートの提出で修了を認定し、「修了証」を発行します。
- ・ なお、出席確認は、レポートの提出をもって行いますので、講義を受講した場合は必ずレポートを提出してください。

5. 申込手続

講座の受講を希望される方は、下記により申込を行ってください。

(1) 申込期間

2023年3月10日（金）から4月10日（月）まで

(2) 申込書類

「受講申込書」（別紙様式）に記入のうえ、以下のとおり提出してください。

※ 以下のサイトから、受講申込書をダウンロードすることもできます。

URL : <http://>

(3) 申込方法

- ・ 申込方法は、郵送のみとし、期間内に配達されたもの及び4月11日（火）以降に配達されたもののうち、4月10日（月）以前の消印があるものを受け付けます。
- ・ 直接持参しても受理できませんので、ご注意ください。

(4) 提出先

《郵送》 〒798-4292 愛媛県南宇和郡愛南町船越 1289-1
愛媛大学南予水産研究センター 事務室（電話 0895-82-1022）
《FAX》 0895-82-1026

(5) 注意事項

- ① 申込書類の記入にあたっては、誤りのないよう正確に記入してください。
- ② 申込後は、申込書類の記載内容の変更は認めません。また、申込書類は返却しません。

- ③ 申込書類に虚偽の記載があった場合は、受講許可後であっても受講の許可を取り消すことがあります。
- ④ 申込後に住所等の変更があった場合は、速やかに愛媛大学南予水産研究センター事務室へ連絡して下さい。

6. 受講手続及び受講料

申込書類受付後、受講の許可を判断し、結果を郵送で通知します。受講を許可する場合は、受講許可の通知と併せて、受講手続の書類及び受講料払込票をお送りしますので、下記のとおり受講手続を行ってください。

(1) 受講手続期間

2023年4月17日(月)から4月28日(金)まで

(2) 受講料

6,000円(高校生及びリピート受講生*は3,000円)

※リピート受講生とは、令和3年度までの水産人材育成講座を受講された方(修了の有無は問いません)をいい、令和4年度の基礎編のみ受講された方は除きます。

7. 個人情報の取り扱いについて

本センターでは、提出された申込書類に記載された氏名、住所等の個人情報は、本センターにおける申込みの事務処理に不備等があった場合の連絡、及び受講手続関係書類の送付等のために利用します。

なお、申込書の不備等があった場合には、その訂正・補完を迅速に行っていただくため、申込みされること及び提出した申込書に不備があることを、申込者の自宅に連絡する場合があります。

また、同個人情報は、申込者の受講後に関する業務及び調査・研究(申込み動向の調査・分析等)を行う目的をもって本センターが管理します。

他の目的での利用及び本センターの関係教職員以外への提出は行いません。

◇ 本講座に関するお問い合わせ

愛媛大学南予水産研究センター 事務室

〒798-4292 愛媛県南宇和郡愛南町船越 1289-1

[電話] 0895-82-1022

[FAX] 0895-82-1026

[Email] suisanc@stu.ehime-u.ac.jp

※お問い合わせの際は、なるべくメールでお願いします。

※ その他

今回の「応用編・水産業と地域活性化」のほか、10月～2月には「基礎編・水産学概論」として、基礎的な水産学の講義の開講を予定しております。